

分析と改善策

**総括**  
 児童の回答は、すべの設問においてA+Bが80%を超えていまり  
 した。今後導が小規模校の特性を十分に生かす、児童一人一人に寄り  
 添った指導の仕方が、回答の回数や取組を振り返り、児童一人一人の  
 外協の力でお子様たち様のお力添えが、成長が認められ、結果として  
 協働の力を得たことで、お子様の生活や学習に、保護者の「そ  
 う思う」という声が、割合は40%未満でした。毎時間の授業において、  
 単元全体を確保し、身に付けた力を、子供たちと一緒に確認するよ  
 を十分確保することと、さらには、何を学んだのか、何が得意で、  
 「りを大事にして積み重ねていくことを再確認しました。好奇心を大切  
 に、子供たちの「なぜだろう」「もっと知りたい」という好奇心を大切  
 に、学ぶことに興味や関心を抱けるような授業展開に努めてまい  
 ります。  
 お子様たちが楽しく安全に安心して、今日を楽しみ、友達と学び  
 合いながら明日が待たれる学校生活となるよう、教職員一同努力し  
 てまいります。

アンケート結果より A+Bが80%未満の設問について（値はA+B）

- 設問16（保護者68% 児童90%）  
「お子様は、授業にめあてをもち、終わりに振り返りをして学習している」
- 設問17（保護者62% 児童85%）  
「お子様は、課題についてまずは自分で考えようとしている」
- 設問19（保護者62% 児童90%）  
「お子様は、自分の考えをもち、それを分かりやすくノートやクロームブ  
ックにまとめている」
- 設問20（保護者75% 児童98%）  
「お子様は、授業の内容を理解している」
- 設問23（保護者79% 児童94%）  
「お子様は、進んで元気よくあいさつをしている。」
- 設問30（保護者79% 児童86%）  
「お子様は、早寝・早起き・朝ごはん」が習慣になっている。
- 設問32（保護者69% 児童92%）  
「お子様は、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。」

確かな学力の育成を目指し、自分で考え見通しをもって取り組む時間を確保  
 し、振り返りをしながら次の学習につなげられるようにしていきます。な  
 まだ、ICTを有効活用し、子供たちが必要に応じてクロームブックを使うな  
 ど、学習理解を進めていきます。  
 規則正しく生活習慣が確立できるような、今後も健康教育と自己管理能力の  
 育成に努めてまいります。

設問27（保護者68% 児童90%）  
「お子様は、年間50冊を目指して読書している」

読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなも  
 のにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことなきに  
 なるべきです。学校での朝読書の充実、読み聞かせの機会を増やすと、ご  
 家庭でも読書に親しむ環境づくりのご協力をお願いいたします。

保護者の皆様からのご意見と回答

ご意見ありがとうございます。アンケート時期に限らず、些細なことでも困ったことやお気付きのことなど、遠慮なく学校にご連絡ください。

	ご意見	回答
学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日の授業参観、は割思良い業対 す。うしほ緒考先 でも別にて一等は数として</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級では、学年ご 組む限り、担任以外この IC Tを、活かせた指 の学びり、をます。 のっ合をます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度教、えいのま 生でうをたれっ をてく思</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとございま 性を生深る取 よてりかめ教組 してする科があ して深る取組</li> </ul>